

第13週の発生動向(2006/3/27~2006/4/2)

1. インフルエンザの警報・注意報は、県内全域で解除されました。
2. 伝染性紅斑は、弘前保健所管内で引き続き警報が出されています。

第13週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ	36	2.57	26	1.73	38	2.71	2	0.29	52	5.78	45	7.50	199	3.06	-66
(60) 咽頭結膜熱			3	0.33			1	0.20	1	0.17	4	1.00	9	0.21	6
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	1.33	13	1.44	6	0.67	3	0.60	4	0.67	3	0.75	41	0.98	-7
(62) 感染性胃腸炎	49	5.44	52	5.78	5	0.56	9	1.80	23	3.83	29	7.25	167	3.98	-5
(63) 水痘	32	3.56	3	0.33	5	0.56	1	0.20	21	3.50	15	3.75	77	1.83	19
(64) 手足口病															0
(65) 伝染性紅斑	4	0.44	26	2.89	3	0.33	8	1.60	8	1.33	1	0.25	50	1.19	0
(66) 突発性発しん	3	0.33	3	0.33	1	0.11	1	0.20	4	0.67	5	1.25	17	0.40	-7
(67) 百日咳															0
(68) 風しん															-2
(69) ヘルパンギーナ	2	0.22											2	0.05	2
(70) 麻しん(成人を除く)															0
(71) 流行性耳下腺炎	4	0.44	10	1.11	8	0.89	12	2.40	13	2.17	8	2.00	55	1.31	-8
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎					6	3.00			1	0.50			7	0.64	5
(59) RSウイルス感染症			2	0.22			2	0.40					4	0.10	-3

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	14	9	5	2	1
弘前	15	9	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

は警報      は注意報      「空欄」: 患者発生数0

感染症の窓

水痘

図1 平成18年 水痘患者報告数

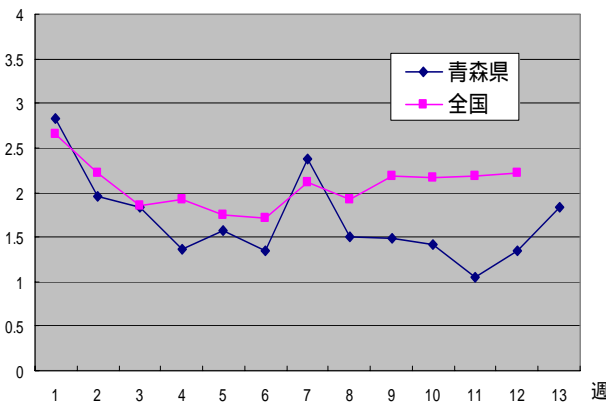


図2-1 水痘患者報告数(保健所管内別)

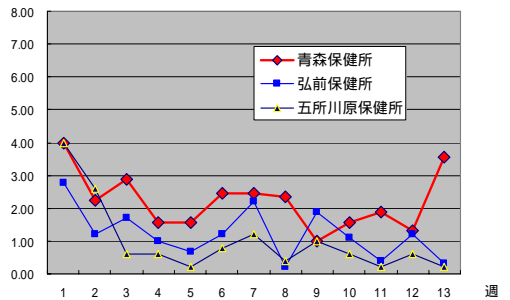
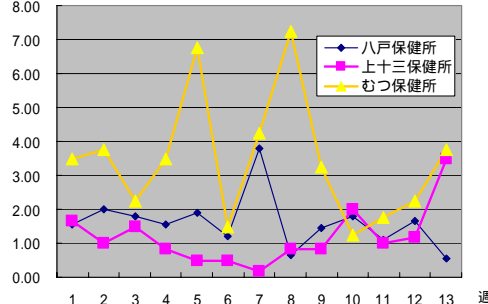


図2-2 水痘患者報告数(保健所管内別)



水痘は、主に乳児や学童にみられる軽い発熱と全身の発疹が特徴のウイルス性感染症です。

青森県における水痘の定点あたりの報告数は、第7週に高い値を示した以外は、概ね全国値より低い値で推移していましたが、第12週からは増加傾向にあります(図1)。特に青森保健所管内(図2-1)、上十三保健所管内及びむつ保健所管内(図2-1)では増加傾向にありますので、今後の動向に注意が必要です。